

あざみ野オープンスタジオ
ヌード・クロッキー

定員 15歳以上(中学生を除く)各コース20名程度
参加費 各コース6,500円(全4回分)

[Bコース] (保育あり)
11/7・21、12/5・19 (すべて木曜)
14:00～16:30 ※初回のみ13:45～
応募締切 10月17日(木)

[Cコース] (保育あり)
1/22、2/5・19、3/5 (すべて水曜)
14:00～16:30 ※初回のみ13:45～
応募締切 12月24日(火)

参加者のみなさんが自主的にクロッキーに取り組む時間です。5分、10分、20分と時間を変えて、いろいろなポーズを描きます。必要な方にはカルトン(画板)、イーゼルを無料でお貸しします。油絵具類以外の画材を各自で用意し、制作していきます。基本的に指導はありませんが、分からないことがあれば担当のスタッフが対応いたします。



ATELIER
YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY AZAMINO

横浜市民ギャラリーあざみ野
アトリエ
市民のためのプログラム

2024年 11月 - 2025年 3月

申込方法
申込みは「ホームページの申込みフォーム」
「直接来館」で受け付けます。
応募多数の場合は抽選です。※先着順の講座を除く

[ホームページ]
当館ホームページの申込みフォームから
お申込みください。

※受付完了後に「受付確認メール」(自動返信)を
お送りします。届かない場合はご連絡ください。



申込はこちらから

[直接来館]
横浜市民ギャラリーあざみ野2階事務室へお越しください。
9:00～21:00 (休館日を除く)

- ・お申込みは一講座につき一人一回とします。
- ・締切後は抽選結果にかかわらずみなさんにご連絡いたします。締切日を一週間過ぎても連絡が無い場合はお問合せください。
- ・締切を過ぎても定員に満たない場合は先着順で電話申込みを受け付ける場合がございます。
- ・催事内容、時間などが変更もしくは中止になる場合があります。最新情報は横浜市民ギャラリーあざみ野ホームページをご確認ください。
- ※お預かりした個人情報は横浜市民芸術文化振興財団の個人情報保護方針に基づき管理します。

お問合わせ・交通案内

横浜市民ギャラリーあざみ野(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3
TEL: 045-910-5656 FAX: 045-910-5674
https://artazamino.jp/
E-mail: info@artazamino.jp
X @artazamino

最寄り駅 東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分
横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分

駐車場 23台(有料)
・駅からのアクセスについて心配な方はご相談ください。
・より詳細な地図やバリアフリー情報はこちらから。
https://artazamino.jp/barrierfree



身近な
素材でダーニング!



ショークレースギャラリー! 近あづき展 関連ワークショップ

ニュータウン
路上観察



ニュータウン路上観察



美術を探る講座

<線>を考える

あざみ野オープンスタジオ
ヌード・クロッキー



アトライティング
実践

アトライティング
実践

★横浜市民ギャラリーあざみ野は楽しみ方いろいろ!

○もっといろいろなアートを知りたい方は…
アートの領域をひろげた、生活の中にある
知りたいことを学ぶための学び舎、「あ
ざみ野カレッジ」へ!
http://artazamino.jp/azamino-college/



詳細は横浜市民ギャラリーあざみ野のHPで! <http://artazamino.jp/>

○横浜市民ギャラリーあざみ野の旬な情報を知りたいあなたは…
展覧会・ワークショップ・コンサート等々、あざみ野や横浜市内の
アート情報を無料のメールマガジンで
お届けします!あざみ野メンバーズ
MAIL NEWSにご登録ください。
http://artazamino.jp/mailnews



横浜市民ギャラリーあざみ野では、美術を中心とした文化芸術に触れ、多様な価値観のもと様々な経験ができるプログラムを開催しています。みなさまのご参加をお待ちしています。

※市民のためのプログラムの対象年齢は中学生以上です（一部講座を除く）。
※横浜市外の方もご参加いただけます。

ショーケースギャラリー近あづき展 関連ワークショップ

身近な素材でダーニング!

保育あり

11/2 (土) 10:00 ~ 13:00

11/10 (日) 13:00 ~ 16:00 (全1回) ※両日とも同内容

「オタマ」と毛糸を使って、誰でも簡単にできるダーニングのワークショップを開催します。専用の機材や特別な糸を使わずに、ご家庭でも実践できる方法を学びます。穴が開いた衣類や、装飾したいアイテムをご持参ください。物を大切に使い続ける楽しさを学びながら、持続可能な暮らしを始めてみませんか。

ダーニングとは：服に穴が開いてしまったときに、針と糸を使ってその穴をふさぐ方法



講師	近あづき
対象・定員	小学4年生以上・各回12名（先着順）
参加費	3,000円（材料費込）
申込開始	9月20日（金）10:00 ~

ショーケースギャラリー
黄金町エリアマネジメントセンター連携企画

近あづき展

関連展示の詳細はこちら ----->



近あづき（こん・あづき）
1986年千葉生まれ。生家が洋裁教室だったことから糸や布がある環境で育ち、武蔵野美術大学在学中より、編み物技法を用いて立体作品を作り始める。作品制作の傍、国内外ブランドへのニットアイテムの制作、CMやテレビへの衣装、技術協力などを行っている。
横浜・黄金町にて、家庭用編み機、手編みで自由に作る黄金町芸術学校あみもの講座を主宰。主な個展に 2022年「よるのとばり」（ONA project room）など。

ニュータウン路上観察

11/12 (火) 18:15 ~ 20:30

11/24 (日) 13:30 ~ 16:30

→雨天の場合 11/28 (木) 18:00 ~ 21:00 に変更

12/3 (火) 18:15 ~ 20:30 (全3回)

青葉区を含む多摩田園都市は、1953年に開発が計画されてから、ニュータウンとして多くの人々の生活を支えてきました。本講座は、ニュータウン出身の中島晴矢氏とともに、赤瀬川原平の「路上観察学」や「超芸術トマソン」を軸に、今和次郎の「考現学」、1970年前後の「風景論」などにも目配せしながら、ニュータウンの再発見を試みます。同時に、ご自身にとってのフッド（根拠地）についても考えを深めます。



講師	中島晴矢
定員	10名（申込多数の場合は抽選）
参加費	5,000円（全3回分）
応募締切	10月15日（火）

講座内容（予定）

- 1日目：レクチャー、ディスカッション
- 2日目：ニュータウン街歩き（場所：検討中）
- 3日目：アウトプット、ディスカッション



Photo by MATSUKAGE

中島晴矢（なかじま・はるや）
アーティスト。1989年神奈川県生まれ。現代美術、文筆、ラップなど、インディペンデントとして多様な場やヒトと関わりながら領域横断的な活動を展開。美学校「現代アートの勝手口」講師。プロジェクトチーム「野ざらし」メンバー。主な個展に 2019-2020年「東京を鼻から吸って踊れ」（gallery αM）、キュレーションに 2018年「SURVIBIA!!!」（NEWTOWN）、著書に『オイル・オン・タウンスケープ』（論創社、2022）など。



お子さんをあずけて、安心して講座に参加できます

「保育あり」の記載のあるプログラムにご参加の方は、講座時間中に主催事業保育料金にて1階の保育室（予約制、対象年齢：1歳6カ月～未就学児）をご利用いただけます。詳細はアートフォーラムあざみ野子どもの部屋（TEL:045-910-5724）までお問い合わせください。※2ヶ月～1歳5ヶ月児の保育につきましてはご相談ください。

美術を探る講座 <線>を考える

12/20・27, 1/10・17 (すべて金曜、全4回)

18:00 ~ 20:20

<線>という言葉からどのようなことを想像しますか。本講座では、マルセル・デュシャンの《三つの停止原器》を応用して定規をつくり、その定規によって生まれる線を用いて作品を制作します。制作の過程で、様々な<線>のありかたについて思考を巡らせます。線を引き、線の解釈を広げながら、美術について一緒に考えましょう。

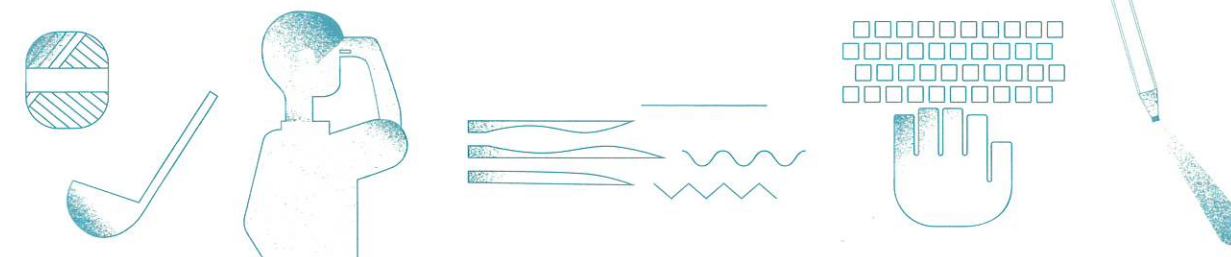


講師	海老塚耕一
定員	14名（申込多数の場合は抽選）
参加費	10,000円（全4回分、材料費込）
応募締切	11月22日（金）



photo: 望月孝

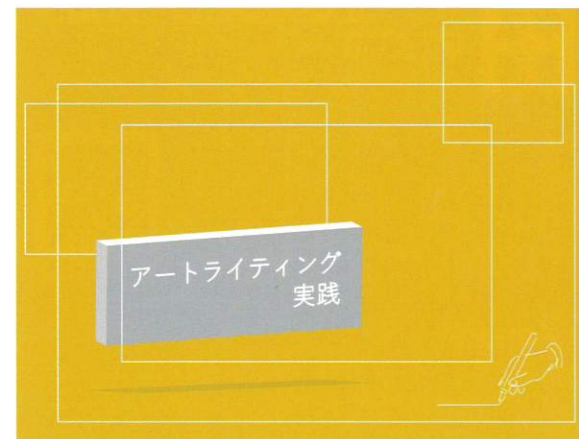
海老塚耕一（えびづか・こういち）
横浜生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。美術家、現代美術研究者。第6回インド・トリエンナーレ ゴールド・メダル、第4回アジアアート・ビエンナーレ最優秀作家賞、第15回平塚中賞を受賞。主な個展に、2002年「眼差しの現象学—身体・素材・記憶」展（神奈川県民ホールギャラリー）、2013年「水辺に佇み、風に触れる」展（カサヤの森現代美術館）他多数。美術家としての制作を、鑑賞理論としても論理化しつつ、子どもとの交感を通して独自に展開している。



アートライティング実践

2/12 (水)・18 (火) (全2回) 18:30 ~ 20:30

当館は、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションを収蔵しており、大小さまざまな展示会を開催しています。本講座では、あざみ野フォト・アニュアル2025を鑑賞し、400～2000字程度の文章を執筆していただきます。一緒に展示会を鑑賞しながら展示や作品についての理解を深めていくため、初心者の方でも安心してご参加いただけます。展示会を様々な視点で捉えて、言葉による表現を行ってみませんか。



講師	南島興
定員	6名（申込多数の場合は抽選）
参加費	2,500円（全2回分）
応募締切	1月15日（水）



南島興（みなみしま・こう）
横浜美術館学芸員。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了（西洋美術史）。全国の常設展をレビューするプロジェクト「これぼーと」運営。時評番組「みなみしまの芸術時評」主宰。旅行誌を擬態する批評誌『LOCUST』編集部。『坂口恭平の心学校』（晶文社、2023）刊行。